

令和4年度 日向市立平岩小中学校 学校評価報告 (4…期待以上 3…ほぼ期待通り 2…やや期待を下回る 1…改善を要する)

評価項目1 学力【重点指導事項①授業・家庭学習の改善 ②読書活動の推進】

グランドデザイン ゴールの姿	自己評価	改善策	学校関係者 評価	委員の意見
①授業内容が「わかった」「できた」と実感でき、進んで家庭学習に取り組む。	2.8	◎「分かるまで、しっかりと」学習するとはどのようなことが、学校で具体的に指導し、自主的な学習の充実を図る。 ◎情報検索だけでなく、PCに関する様々な操作も段階的に慣れ親しませていく必要がある。 ◎家庭学習の手引きを活用したり、強化週間を設定したりして、家庭学習の取り組みへの意識向上を継続していく。	3.2	○児童生徒は、落ち着いた態度で学習に取り組んでおり、タブレット端末の活用にも積極的に取り組んでいる。タブレットの導入で写真や音声など、テキスト以外の表現が得られ質が高められている。 ○対話のある授業では、意見をはっきり言えない子どもにとって、グループ内で発表するきっかけとなるのではないかと。 ▲タブレットの活用についてセキュリティの整備とルールの確立が重要と考える。
②進んで読書をする。	2.9	◎読書通帳を更に活用し読書量を実感できるような手立ても検討していきたい。またビブリオバトルにおけるブックレビューの活動とおして更に読書の啓発を行っていく ◎ブックレビューの活動を通して、更に読書の啓発を行っていく。	3.0	○本を借りている児童生徒も多く、読書通帳は素晴らしいアイデアだ。また、ビブリオバトルは参加者の知らなかった本と出会うことにより、本を読むきっかけになると思う。 ▲読書を進める活動は工夫されていると思うが、学校にいる時間の方が家庭にいる時間より読書をするのではないかと。

評価項目2 気力【重点指導事項①思いや願いを豊かに表現できる力の育成 ②キャリア教育・特別支援教育の充実】

グランドデザイン ゴールの姿	自己評価	改善策	学校関係者 評価	委員の意見
①自分の考えや気持ちをきちんと説明し自己表現ができる。	2.9	◎児童生徒が自分の役割を果たす中で自己表現できる場を増やしていく。 ◎行事以外の場面でも意欲的に発表したり、歌ったりする態度をさらに伸ばしていく。例えば、委員会活動で、児童生徒が自分の言葉で表現できる機会を意図的に作る。	3.1	○学習の中で自分の思いや願いを表現できる場を設けてあることは素晴らしい。他者の表現活動に触れることにより表現の在り方、方法、技術が高まっていくことだろう。 ○渚フェスティバルには感動がある。時間がないうちで、個人でも学級全員でも作品を完成するために必死に取り組んできた様子がありありと感じられるものがある。 ▲先生が一方的に話し続けるのではなく、子どもの考える場面と先生が教える場面を意図的に取り入れることが大切である。
②自分を見つめ、将来の姿を考えて、学習したり生活したりする。互いの違いを認め助け合い、みんなが楽しく登校できる。	2.9	◎キャリアパスポートにおける保護者からのコメントは1つ2つに絞るなどして、無理なく実践を重ねていくようにする。 ◎学級懇談会等の時間を利用して、保護者に対して、特別支援教育に関する情報発信を対面で実施し、理解を深めていただくようにする。	3.2	○キャリアパスポートの実践は素晴らしい。 ○キャリア教育を1年生から行っていることはすばらしい。 ▲子どもたちの目標も年々変わることもあると思うので、このことに対する対応をしてほしい。

評価項目3 体力【重点指導事項①スマホ7か条の周知と徹底 ②早寝・早起き・朝ご飯の習慣化】

グランドデザイン ゴールの姿	自己評価	改善策	学校関係者 評価	委員の意見
①情報モラルや正しい知識を身につけ、スマホ7か条を守った上で適切に使用することができる。	3.1	◎ノーメディアについての取組を家庭にも協力してもらえるよう通信等で知らせていく。 長期休暇中の取組については、今後もチェックシートなどで啓発を図る。 ◎スマホ7か条と、メディアコントロールの目的や内容を整理し、生徒指導部との役割分担をする。	3.2	○小さい子供のスマホ依存はとても怖いものだ。学校でのこうした取組はぜひ続けていただきたい。また、ビデオなど効果的な方法を使って指導してほしい。 ▲ゲームのやりすぎは、健康被害の元である。保護者もルールを守らせる努力が必要だ。
②基本的な生活習慣と併せて、早寝・早起き・朝ご飯の習慣が身についている。	3.0	◎生活リズムについては、家庭の協力のよるところが大きい。そのため、保健だよりや学級通信、参観日懇談等で生活リズムを整えることの大切さを家庭に伝え、協力を得られるようする。 ◎保健の授業をはじめ、学級活動等で、生活リズムの大切さを児童生徒に理解させ、自分で生活リズムを整えるようとする意欲を育てる。	3.0	○「保健だより」のコメントに「保健室に相談に来る児童が増えた」と…正しい情報を「保健だより」をとおして子どもと保護者に届けられることは重要。みんなが待ち焦がれる「保健だより」の発行である。 ▲保健室利用がかなり多い(コロナの影響もあるが)。健康管理が大切だ。朝ごはんを食べていない子どももいるのでは？

評価項目4 誠心【重点指導事項①挨拶の響く学校 ②いじめを許さない学校】

グランドデザイン ゴールの姿	自己評価	改善策	学校関係者 評価	委員の意見
①自分から進んで時と場に応じた挨拶ができる。	2.9	◎あいさつの仕方を確認する集会や時間を設定することで、人を意識したあいさつができるようになることを目指す。 ◎児童生徒会執行部を中心としたあいさつに関する集会を実施する。	3.4	○学校ではいろいろと工夫しているので、登下校の時はあいさつをよくしてくれる。 ▲あいさつの重要性を意識し、その意義を子どもたちに伝えたい。あいさつをすると、笑顔が増え気持ちも上向いてくるので、あいさつの意義を理解させることが大切である。
②いじめは絶対ダメと言える。からかいやいじめを受けることなく登校できる。	3.0	◎人権月間の取組を職員間でも共有する時間を設定し、より一層、人権に関する理解を深められるようにする。 ◎日常的に児童生徒の観察を実施し、適宜、場面に応じた臨機応変な対応ができるように、職員間の情報共有を密に行う。	3.3	○いじめのない学校を目指し努力しているのが伺える。いじめは一生を左右する大変なことなので、絶対に起こらないようにしたい。 ○登下校で上級生が下級生のお世話をしている様子を見る。心があたたまる光景だ。 ▲登校時はいじめは見受けられないけど、下校時は少し心配だ。